

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

 池田町

VOL. 01

平成29年5月15日発行

【主な内容】

発刊にあたり	2
議会のあり方検討会の報告	3
平成29年3月定例会報告	4
平成29年度予算	5

議会だより
創刊号



池田町議会
議長

佐野 和彦

私たち池田町議会では、平成27年9月から一年余りをかけて、「議会のあり方についての議論」を重ねてまいりました。

その中で、議会だよりの発行は、「議会の情報提供および町民との意見交流の向上化を図るため、早急な発行に取り組むべき」との議員の総意により、この度、発刊となりました。

日本の社会が成熟度を増す中、少子高齢化による人口減少社会を迎え、地方の町村においては、その地域の特色を活かした地方創生をどのように進められるかが重要課題となっており、地方議会が果たすべき役割もますます

重要になってきております。

豊かで美しい私たちの池田町が、将来においても魅力的で活気ある町であり続けるためには、より多くの町民の皆様のご理解とご参加のもとで、町づくりに取り組まなければなりません。

議会においても議会活動や審議内容などを、年4回の定例会ごとにご報告するとともに、町民との意見交換を通じて議会の活性化に努めていく所存です。

この「議会だよりの」が多くの町民と議会を結ぶものとなるよう祈念し、発刊のごあいさついたします。

定例会の流れを紹介

◎定例会／3月・6月・9月・12月（年4回開催）

◎臨時会／必要に応じて開催

閉会	採決	全員協議会	特別委員会	常任委員会	本会議開会	全員協議会	正副議長 委員長会議
	採決	委員会報告に対する質疑 議案に対する常任委員長の報告 委員長報告に対する質疑・討論 議員発議	足羽川ダム対策特別委員会	文教経済常任委員会審議 総務厚生常任委員会審議	町長の施政方針及び提案理由の説明 一般質問 一括質疑 議案を各常任委員会に付託	会期の決定 諸般の報告 議案の一括上程	議会日程を決めます 議案の説明 質問・質疑

議会のあり方 検討会の報告



◎検討する経緯

近年、地方自治体において、地方創生が叫ばれる中、住民参加型のまちづくりが重要な課題となっています。

議会においても、議員のなり手不足や議会と住民との関係をはじめとした、議会活動のあり方が大きな課題となっています。また、議会の活動が見えてこないとの意見も聞かれます。そんな中で、現状の改善を図るため、町の最高意思決定機関である町議会で「議会のあり方」を協議、検討をすることとしました。

◎検討した期間

全議員7人により平成27年9月から平成28年12月の間で4回の会合を開き検討を行いました。

◎検討した内容及び結果

①議会活動内容を住民の皆さんに発信する方策の検討

結果

「議会だより」を年4回（定例会ごと）に発行することとします。

（定例会後およびその1ヶ月以内）

②議会のあり方、理念の構築方策について

結果

「議会基本条例」の制定について、条例制定の意義、必要性、運用について他市町村議会で疑問を呈する議会が多数あることから、池田町議会においては、条例の制定を見合わせることにしました。

③議会で審議する体制及び議会活動の活発化について改善の必要性があるか

結果

(1)総務厚生常任委員会（4人）、文教経済常任委員会（4人）が現在設置されています。総務厚生常任委員会（6人）、文教経済常任委員会（6人）に人数を増やし議論を活発化します。

(2)前年度の決算の審議を充実させるべきではないか

結果

決算常任委員会を新たに設置します。（全議員）

(3)議会の調査研究活動の充実の必要性について

結果

全国の先進的な取り組みを学び、議員の資質を高めるため視察研修を行います。

④議員定数と報酬の見直しの必要性

(1)議員定数の見直しについて

結果

池田町の人口減少が進む中で、議員定数の見直し（減少）が必要ではないかとの意見もありましたが、民意の反映の視点から議員定数の削減は好ましくないとの意見が多数あり、当面定数8名を維持することとしました。

(2)議員報酬の見直しについて

結果

池田町議会では、議員のなり手不足（特に若い世代）が深刻な問題となっており、これらの一因に報酬の低さがあると指摘されていることもあり、平成29年4月からの改正を目的に報酬審議委員会の開催と審査を求めることとしました。

◎3月定例会で、議会議員の報酬と町特別職の給与の引き上げの議案が提案され、賛成多数で可決されました。

議会議員の報酬月額

	報酬月額 ()内旧
議長	310,000円(300,000円)
副議長	270,000円(225,000円)
議員	255,000円(205,000円)

町特別職の給与月額

	給与月額 ()内旧
町長	820,000円(735,000円)
副町長	650,000円(635,000円)
教育長	560,000円(525,000円)

3 月 定 例 会 報 告

平成29年3月池田町議会定例会は、3月9日(木)から17日(金)まで9日間開催されました。審議された議案は次のとおりです。

なお、池田町副町長には、池田町池田 溝口 淳氏の任命同意しました。

議案第 2 号	平成 29 年度	一般会計予算	賛成多数
議案第 3 号	平成 29 年度	国民健康保険特別会計予算	全員賛成
議案第 4 号	平成 29 年度	国民健康保険診療施設特別会計予算	全員賛成
議案第 5 号	平成 29 年度	簡易水道特別会計予算	全員賛成
議案第 6 号	平成 29 年度	下水道事業特別会計予算	全員賛成
議案第 7 号	平成 29 年度	農業集落排水事業特別会計予算	全員賛成
議案第 8 号	平成 29 年度	介護保険特別会計予算	全員賛成
議案第 9 号	平成 29 年度	後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成
議案第 10 号	平成 28 年度	一般会計補正予算 (第 5 号)	賛成多数
議案第 11 号	平成 28 年度	国民健康保険特別会計補正予算	全員賛成
議案第 12 号	平成 28 年度	簡易水道特別会計補正予算	全員賛成
議案第 13 号	平成 28 年度	下水道事業特別会計補正予算	全員賛成
議案第 14 号	平成 28 年度	農業集落排水事業特別会計補正予算	全員賛成
議案第 15 号	平成 28 年度	後期高齢者医療特別会計補正予算	全員賛成
議案第 16 号	高速増殖炉サイクル技術研究開発推進補助金事業基金条例の制定	賛成多数	
議案第 17 号	町税条例等の一部改正	全員賛成	
議案第 18 号	印鑑条例の一部改正	全員賛成	
議案第 19 号	指定地域密着型サービス事業の人員・設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成	
議案第 20 号	公の施設の指定管理者の指定	全員賛成	
議案第 21 号	公の施設の指定管理者の指定の期間の変更	全員賛成	
議案第 22 号	集落基盤整備事業池田の杜地区計画変更	全員賛成	
議案第 23 号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成多数	
議案第 24 号	池田町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	賛成多数	
議案第 25 号	平成 28 年度 一般会計補正予算 (第 6 号)	全員賛成	
議案第 26 号	副町長の選任につき同意を求めることについて	全員同意	
発議第 3 号	参議院選挙における合区の解消に関する意見書	全員賛成	

■ 議案の賛否一覧

(○賛成、×反対)

議案番号	三ッ本	宇野	飯田茂	和田	飯田拓	岩崎	森田
議案第 2 号	○	×	○	○	○	○	○
議案第 10 号	○	×	○	○	○	○	○
議案第 16 号	○	×	○	○	○	○	○
議案第 23 号	○	×	○	○	○	○	○
議案第 24 号	○	×	○	○	○	○	○

※議長(佐野和彦)は採決に加わりません。 ※反対のあった議案だけ載せています。 ※議案に対する討論は8ページに掲載してあります。

総額で41億3270万円を可決

3月定例会では、平成29年度の予算が審議され、一般会計予算30億240万円と7つの特別会計を含めた総額で41億3270万円の予算を可決しました。

平成 29 年度

当初予算	41億3270万円
一般会計	30億240万円
特別会計	14億700万



一般会計の主な収入

町民の税金	1億1027万円
国からの交付税	15億8000万円
国・県からの支援	3億8100万円
預金から取り崩し	1億8600万円
借金	2億9730万円

主 事 業

新保と学園に町営住宅の整備	1億8252万円
いけだ暮 LASSEL の機能を強化	252万円
住宅改築等支援	1650万円
観光振興と情報発信	2255万円
食品加工施設(食ラボ)事業	8864万円
子育て支援(池田応援券事業を含む)	2810万円



学園団地住宅の完成予想図

予防接種、医療費無料化	488万円
入学・通学支援	1118万円

■地域自治の推進

- (仮称)地域自治 高度化交付金事業の創設
- (仮称)環境支払 景観支払制度の創設
- まち育てサロンの実施
- まちカフェ TV の製作、放映
- (仮称)まち育て大学の開校

■子育て環境の充実

- ママファースト運動の高度化
- 小中学校の英語教育の充実
- 新図書館の建設



■地域経済の展開

- 志津原ファミリーリゾートの再開発
- (仮称)食ラボを活かした商品開発
- 新規チャレンジ企業の支援



■移住・定住支援

- いけだ暮 LASSEL の機能を強化

■観光、交流人口の強化

- 農村観光協会の法人化
- 町内観光業者との連携
- (仮称)池田ファンクラブの発足

■健康長寿の強化、増進

- 脳べるの改革プロジェクト
- 食育実行プランの作成
- 地産地消率の向上



■生活定住環境の向上化

- 国道417号、476号の高度改良整備
- 屋根融雪装置の実用化
- (仮称)ライフ&ワークデザイン工房 こころラボの開所

■その他

- 水海の田楽能舞のユネスコ 世界文化遺産への登録
- 役場庁舎の改築



杉本町長は定例会において、6期目の施策の方針を述べました。

杉本町長 6期目の抱負



宇野 邦弘 議員



「子ども医療費の無料化拡充を」

無料化拡充を」

自己負担は社会制度のあり方を考える上で必要(町長)

子ども医療費の無料化拡充を

子ども医療費は、現在、国と県町の助成で中学校卒業まで無料になっていますが、窓口立て替えになつて、県は来年度からこれをなくす方向です。

しかし、一医療機関あたり一カ月500円、入院の場合一カ月、8日間が上限で日額500円の負担は残ります。県下7市町ではこの負担はない。なくすべき。高校生まで無料化を。町の負担はどれくらいか。

保健福祉課長

500円の自己負担分を無くするための町負担は約40万円、高校までの無料化の負担は年間約70万円。

町長

自己負担の500円は社会制度を考える点でも必要と考える。今後は、県が償還払い制度をやめる30年をめどに検討していきたい。

就学援助制度の周知徹底と、

入学準備金の支払時期を早めるように

就学援助の、保護者への周知徹底はどうか。入学準備金の支給は、越

飯田 茂治 議員



「地域自治高度化交付金(仮称)の内容は」

(仮称)の内容は」

地域課題解決の取組を支援(町長)

地域自治高度化交付金

(仮称)の内容は

集落での連帯感の向上や、人口流出率を減らすために、集落の自治活動に対し「コミュニティ自治高度化交付金(仮称)」を創設し、支援するところがあるが、具体的説明を。

町長

自治交付金事業(仮称)については、集落や地域において目標を示し、課題を整理され、どのような方策をもってどのように取り組むのか、どこに支援を必要とするのか程度の計画書を頂くものとした。また、支援についても限度額を設定していく。

新図書館を核とした拠点づくりの内容は

新図書館を核とした「ゆとり・ゆかい・ゆたか」な子育て、文教の拠点づくりをあげられていますが、この施策の説明を。

町長

図書館機能の拡充と文化交流会館の利活用向上のため、読書や探す・調べるを楽しむ、時間的・空間的ゆとりの確保、少々のおしゃべりや交流が



町長

文化財の集約としての拠点づくりのご提案ですが、用地や予算の確保、現施設の後活用など、実現には、困難な課題が多いと考えている。

常任委員会での質疑

議会では、議案の詳細な審議を行うため、総務厚生常任委員会と文教経済常任委員会を設置しています。委員会の主な審議内容を紹介します。

◎総務厚生常任委員会

問 区長会の会議は、夕方に開催出来ないか。

答 区長会長と相談する。

問 地域組織活動補助金はどこに補助しているのか。

答 母親クラブである。

問 病児病後児保育の状況は。また、開所時間は問題ないのか。

答 昨年の12月までは16人。開所時間は保護者の要望にそって実施している。

問 がん検診受診の町民へのPRを強化を。

答 広報は行っている。受診率は高浜町について高い。医療費を下げるためにも受診してほしい。

問 葬斎場の耐用年数は。修繕予定は。

答 建物は40年を過ぎているが、

老朽化を遅らすため2基の炉を交互に使用している。

問 南越清掃組合の新焼却施設設計画の進捗は。

答 場所は南条サービシア付近で、平成29年設計、39年に完成の計画である。

問 新保地区と学園地区の町営住宅入居者は決まっているのか。

答 完成前には募集をかける。

問 観光案内看板整備についての考え方は。

答 県の指導で交差点では設置できない。道路管理者が設置する道路案内看板に変えていく。県の景観条例により、民地でも難しい。

問 不適格看板の撤去とはどのようなものが該当するのか。

答 杉の形の看板は撤去する。

問 そば道場改修の進展は。

答 まだ着工していない。予算の繰り越しで対応する。

問 診療所の医師の確保のめどは。また、医師の人件費は池田町で負担するのか。

答 医師は確保できる見込みで現在調整中である。人件費は、町負担になる。

問 介護保険料は3年毎に見直しになるか。

答 現在県下は月平均5000円であるが、町では基金で補てんして3800円に抑えている。基金も底をつくため、29年度は、ある程度までは上げざるを得ない。

問 子育て支援が減額になっていくか。

答 転入者や出生率の目標を高く設定した。

◎文教経済常任委員会

問 多面的支払交付金の内容は。

答 遊休地にならないよう草刈りを行うなど、農地維持のための共同作業への支払。

問 JA池田に補助金を出している主な事業は何か。

答 米需給調整委託料、経営所得補助金の一部、トマト補助の一部、畜産の事務局費、生命にやさしい米づくり事務局費などである。

問 サルの被害対策は。

答 越前市、鯖江市、池田町で連絡会をつくりサル群れ調査を行っている。

問 追い払うだけでなく、駆除することが必要では。

答 大きな群れを檻で一気に捕まえる。

問 高齢者の住宅機能改善の状況は。

答 70歳以上が利用している。多くの申し出がある。

問 住宅機能改善事業の年齢を下げられないか。

答 70以上でと考えている。

問 住み家支援事業の実績は。

答 多世代支援は1件、新築は0件。

問 魚見川は土砂堆積などがひどい状態である。

答 魚見川の管理は県であるので、堆積物を取り除くように要請している。

問 防犯灯は夜間常時点灯させる必要はあるのか。

答 明かりがついているだけで防犯になる。

問 特別支援学級の教員の給料は県負担か。

答 県と調整中。

問 集落活性化支援事業助成金（花壇等の整備）が国体費関連へ移動したのはなぜか。金額も減っている。

答 国体を盛り上げる経費とした。国体後も続ける。

問 月ヶ瀬のほ場整備は何枚に集約されるのか、また、地元負担はあるのか。

答 7枚になる。地元負担金はある。

問 冠山峠トンネルの残土は仮置きと聞いているがどうなのか。

答 仮置きと聞いている。

問 基本計画の中で水道の水源はどうなるのか。また水道料金は上がるのか。

答 中地区の水源を利用する。角間地区は施設を一か所にする。現段階では、値上げは考えていない。



賛否討論

◎議案第2号平成29年度一般会計予算

◎議案第10号平成28年度一般会計補正予算

◎議案第16号 高速増殖炉サイクル技術研究開発推進補助金事業基金条例の制定

✕ 反対討論 宇野 邦弘

議案第2号 平成29年度一般会計予算では確かに、様々な創意や工夫も盛り込まれていますが、その一方で、今年も300万円の町長交際費が盛られています。

また、学校給食費の保護者負担分として723万円が計上されています。いま全国で給食費無料化の自治体が増えています。義務教育は本来無償です。こうした改善点を求めて一般会計に反対します。

議案第10号一般会計補正予算では、「高速増殖炉サイクル技術研究開発推進補助金事業基金積立費」が盛りられています。これは昨年度予算で盛り込まれた、食品加工施設「食ラポ」の器具関係を翌年度に回すた

めの基金措置です。原発がらみの補助金を使うことには反対です。この交付金の目的は、「原子力発電施設等の設置及び運転の円滑化に資する」というものです。こんな補助事業を受けるべきではありません。関連して議案第16号「基金条例」にも反対です。

◎議案第23号 池田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

◎議案第23号 池田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

✕ 反対討論 宇野 邦弘

議会のあり方検討会でも議員の報酬の低さが議論され、「議員の活動が町民に見えていない」「引き上げなければせめて議会改革を進めてから」などの意見も出されています。

特別職等の報酬審議会でも「町民から厳しい見方もある」「上げ幅が大きい」という意見も出されています。こんな中で任期途中で5万円余も大幅に引き上げることには反対です。

○ 賛成討論 飯田 茂治

議会から住民への情報発信のあり方、審議体制や議員定数と報酬等について4回に及

ぶ検討や他議会への視察研修を実施し、一年余りかけて議論検討を重ねてきました。

そのような中、議員報酬については、全国的に若者の町村議会議員のなり手不足が深刻さを増し、報酬の低さが指摘されています。

議会のあり方検討会において議論してきた議会の見直しを進めるとともに報酬についても見直しを図るべきと考えます。開かれた議会をめざし議会の責任と覚悟をもって見直しを求めたものです。報酬審議会の審議を得ての条例一部改正であり、また議員報酬が平成8年以降見直しが行われていないことも含め本案に賛成します。

◎議案第24号 特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正

◎議案第24号 特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正

✕ 反対討論 宇野 邦弘

町長には、いろいろな苦労があるでしょうが、あまりにも大幅アップすぎます。政治と金の問題が全国で大問題になっている時だからこそ現時点での引き上げについては反対です。

編集後記

池田町議会では初めての議会だよりの発刊であり、満足な記事になっていくか少々心配です。

「開かれた議会」を目指し、議会の中で理事者側との議論の過程をお知らせして、地域の活性化に向け町民皆様、行政、町議会が一体となり、住みよい池田町に向け頑張っていきたいと思っております。ご理解を賜りますようお願いいたします。

また、町民の皆様のご批判をいただきながら、より良い議会情報誌になるよう努力をしております。いま、各自治体では、

地方創生なる言葉が氾濫し、各自治体ではこの課題に向け頭をひねっているようです。そもそも地方創生とはどのようなことか？

インターネットでしらべると「東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした一連の政策である」としています。これは、少子高齢化で人口の減少対策がキーワードのようです。日本の各自治体が単なる人の取り合いにならないよう願うものです。

委員長／和田義則



議会広報特別委員会

- 委員長 和田 義則
- 副委員長 三ッ本 一雄
- 委員 飯田 茂治
- 委員 宇野 邦弘
- 発行責任者 議長 佐野 和彦